

第 101 回日本選手権 OWS 競技 大会の見どころ

第 101 回となった日本選手権は 2026 年にアメリカで開催される第 14 回パンパシフィック水泳選手権大会、2026 年 1 月に開催される全豪選手権、オーシャンズカップ 2025 で中止になり選考できなかった 2025 年 10 月にオーストラリアで開催される Junior Open Water Pan Pac Nations training and tracing camp の 3 大会分の選考がかかった非常に重要な大会となります。全て 10km での選考でパンパシフィック選手権は男女最大 4 人が内定、全豪選手権は平成 18 年 4 月 2 日以降に生まれた者、Junior Open Water Pan Pac は 2006 年 1 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日までに生まれ、オーシャンズカップにエントリーした者の中から選出となり、その中での男女上位 2 名(過去 2 回全豪選手権に出た選手は選考対象外)が内定となります。

パンパシフィック選手権の代表争いは男女とも最大 4 名ということもあり誰にでも代表のチャンスがある熾烈な争いになりそうです。

男子のレースは OWS 代表経験のある 9 名が中心の大混戦レースになりそうです。2 大会連続五輪出場の南出大伸(木下グループ)、今年の世界選手権代表の辻森魁人(日本大)、高木陸(近畿大)、競泳で 1500m 日本記録保持者の今福和志選手(枚方 SS)、一昨年の世界選手権代表の古畑海生(佐藤製薬)、昨年日本選手権では上位に食い込み全豪選手権や世界ジュニアなどの代表経験があり虎視眈々と上位を狙う渡辺雅空(teamsaga ssp)、仲光陸遥(法政大)、岩住宏一郎(日本体育大)、本山空(滋賀スポ協)と経験も豊富なメンバーが勢ぞろいします。また、海のレース経験は少ないですが国スポでも 400m 自由形歴代 3 位の記録を出した田淵海斗(明大大学院)も新たなデュアルスイマーとなるかも注目です。昨年高木のように選考逃げ切りで揺さぶるレースをするか、ベテラン勢がその引き離しを猛迫しラストスパート勝負になるのか 2 周目以降の駆け引きとラスト 1 周のスパートは特に注目です。

女子のレースではやはりパリ五輪代表の蝦名愛梨(ミキハウス)、今年の世界選手権でメダルも獲得した梶本一花(枚方 SS)が頭 1 つ抜けています。今一番勢いのある梶本を蝦名がどのように勝負を仕掛けていくのかが注目です。3 位以降の争いは 4 名を中心にかなり熾烈になりそうです。昨年日本選手権 3 位で代表経験もある奥園心咲(枚方 SS)、日本選手権 4 位で昨年全豪代表の谷清美(新潟医療福祉大)、一昨年世界水泳代表の小島光丘(中京大)、加藤はなの(青森県)が第 2 集団を形成し代表争いをする事になりそうです。ただし、この 3 位以降は 1 位とのタイム差が空きすぎてしまった場合代表として選考されない場合もあるので先頭の 2 名を意識しながらどこまで積極的なレースができるのかが代表に選出されるカギになりそうです。

一方、Junior Open Water Pan Pac、全豪選手権の代表争いでは、今競泳でも勢いがある選手が中心となりそう。

男子はここ 3 か月で 16 秒ベストを更新し持ちタイムが頭 1 つ飛びぬけている竹村 空竜(中京大)、持ちタイム 2 位の花澤柊太(近畿大)、インターハイ 2 位の内村弥路(スウィンみよし)、同じく 3 位の上岡凌太(須磨学園高)が中心となりそうです。

女子は奥園心咲(枚方 SS)、竹澤瑠珂(東京 SC)、高遥香(とこは SS)、谷清美(新潟医療福祉大)、梶本幸花(枚方 SS)と競泳も OWS も確実に実力をつけてきている 5 名が選考レースの中心となりそうです。

5キロは男子 102 名、女子 49 名が出場になります。男子は選考レースの翌日ということもあり 10 キロで紹介した注目選手がレースの中心となりそうです。また、出場者が過去最多のため、スタートからゴールまで大混戦なレースになること間違いなしです。

女子は 2 日目に選考のかかった 10km があることもあり、蝦名・梶本などの有力選手が不在となります。そのため誰にでも優勝のチャンスがあるレースになりそうです。出場者の約 7 割が中高生という若手中心のレースでニュースターは現われるのか注目です。

今回の日本選手権も入場制限がございません。

選手専用エリア等、一部エリアは立入禁止になりますが、大会会場の館山北条海岸はフリースペースがたくさんあります。特におすすめは選手が周回ごとに近くを泳ぐ栈橋は選手を間近で観覧できます。全てのエリアは入場無料ですので、選手たちの熱いレースをご観覧ください。

<日時>

9 月 27 日(土) 9:00 男子 10 k m スタート 9:02 女子 5 k m スタート

9 月 28 日(日) 9:00 男子 5 k m スタート 9:02 女 10 k m スタート

会場 千葉県館山市北条海岸 JR 館山駅西口より徒歩 5 分

YouTube にてライブ配信いたします。

(東京オリンピック大会マラソンスイミング競技女子日本代表の貴田裕美さんが解説予定です。)

選手選考についての詳細は下記より確認できます。

[2025 年度-OWS 国際大会代表選手選考方法 0627. pdf](#)